

2025 VOL.7

2025年3月10日発行

医療法人尚寿会
埼玉県狭山市水野594番地
Tel: 04-2957-1144
<https://taisei-hosp.jp/>

発行者: 寶積 英彦
編集長: 並木 洋之
企画: 広報誌編集室



撮影: 庄司絹子さん (フォトクラブ気写楽) 撮影地: 水野茶畑

地域医療を支え、共に歩む。尚寿会・尚栄会理事長挨拶

愛犬・愛猫と入居できる県内唯一の特別養護老人ホーム **福寿の里**

多様性豊かな職場をめざして 外国人介護士が活躍しています

体と心と脳を活性化! **カーレット体験会** / フォトクラブ **気写楽** さんご紹介

リニューアルしました! 中庭 **ひだまり広場** / 龍助 **狭山の空を舞う**

ご近所探訪・第7弾 **アトリエ Anela** (アネラ) さん

地域医療を支え、共に歩む。

信頼と愛で地域を支える 医療法人尚寿会・尚栄会理事長 挨拶



医療法人尚寿会・尚栄会は、「信頼と愛とで築く地域医療」「思いやりで支える地域福祉」を理念に掲げ、地域の皆様の健康と幸せに貢献することを使命としています。

「尚寿会に行けば何とかしてくれる」

「優しくなければ医療ではない」

これは、私たちのスローガンであり、患者様、ご家族様、そして地域社会に対する私たちの約束です。

コト医療

私たちは、治療困難な病気を抱える患者様にも、温かい心の通った医療を提供したいと考えています。

「コト医療」とは、単に病気を治療するだけでなく、患者様の心に寄り添い、情緒的な価値観を大切にす
る、私たち独自の価値観です。

『自称』小さな地域における縁の下の大きな力持ち

私たち尚寿会グループは、超高齢者の方も長期にご利用頂ける優しい慢性期医療を中心に、地域医療・福祉に尽力しています。

- 狭山尚寿会病院（706床）…回復期から慢性期医療、認知症医療まで、幅広いニーズに対応

- 介護老人保健施設 愛（100床）…利用者様の尊厳を尊重し、在宅復帰や在宅生活継続をサポート

- 特別養護老人ホーム 福寿の里（100床）…幸せであったと思える生涯を真剣に支えます

- 各種在宅サービス…訪問看護ステーション、地域包括支援センター、各種通所リハビリテーションセンター・専門性の高いクリニック・サービス付き高齢者向け住宅など、

在宅での療養を支援

また、社会福祉法人尚栄会 福寿の里の施設内にて地域密着型暖交流施設ひこばえホールや地域包括支援センターを運営し、全ての地域福祉において入口となっています。

埼玉県西部 医療圏域の皆様へ

狭山尚寿会病院は、2024年6月に旧大生病院と旧あさひ病院が統合し、新たなスタートを切りました。両病院の統合により、受診の利便性が向上し、職員間の連携も強化されました。

私たちは、狭山市を中心に埼玉県西部医療圏域（入間市、所沢市、飯能市、日高市を中心）において、慢性期医療を軸に、地域の皆様の様々な課題解決に貢献したいと考えています。

こんにちは！ 臨床サポート室です



尚寿会では職場環境の改善や生産性の向上を目的に一戦力としての障がい者雇用を促進しており、現在9名の精神障がい者を雇用、様々な部署で活躍しています。徐々に依頼も増えており、業務展開はさらに拡大しています。

尚寿会の障がい者雇用の大きな特徴は、臨床サポート室という障がい者専門の部署を設置しており、居場所をしっかりと作っていることのみならず、精神科リハビリテーション専門職である作業療法士がサポートスタッフとして障がい者個々の担当になり、業務やメンタル面のサポートをおこなっていることです。

このことにより、障がい者の方々の方々の居場所をつくり、働きやすさの提供と私たち自身の多様性の理解と社会貢献に貢献することができています。働き手・働き方が多様化している今の時代に尚寿会グループも共に歩んでいます。

(臨床サポート室 倉元)



共に生きる

病気を治すことはもちろん大切ですが、私たちは、患者様の人生の質を高めることをより重視しています。

そのため、医師だけでなく、看護師、介護士、リハビリテーションセラピスト、薬剤師、専門技師、事務職員が一丸となって、患者様一人ひとりに寄り添

ホームページを リニューアル中です



現在、尚寿会のホームページ4サイト(狭山尚寿会病院・尚寿会美容医療・介護老人保健施設 愛・在宅部門)をリニューアル中です。

今回のリニューアルでは、今まで以上に各施設の特徴や魅力が伝わることを意識しながらシンプルな作りによることで、より見やすいサイトとなるよう配慮しました。患者様やご家族様、地域の皆様や医療福祉関係者の皆様に寄り添い、お役に立てるホームページ運営を目指してまいります。

ホームページは順次リニューアルし、今年前半には4サイトのリニューアルが完了する予定です。リニューアルしたホームページを閲覧し、ご活用いただければ幸いです。

地域完結型医療

私たちは、地域の医療機関とも緊密に連携し、患者様にとって最適な医療を提供できる体制を構築していきます。

高度な医療機器も導入し、予防医療にも力を入

い、温かい医療を提供しています。

私たちは、同じ経験を通して共感しあう集団です。

感謝と未来への誓い

ています。

45年以上にわたり、地域の皆様に支えられてきたことへの感謝の気持ちを胸に、これからも地域医療・福祉の発展に貢献して参ります。皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

尚寿会グループ理事長
寶積英彦

特別養護老人ホーム 福寿の里

埼玉県内唯一！愛犬・愛猫と入居できる特養老人ホーム



全国でも犬や猫と暮らせる特別養護老人ホームは数少ないため、ご入居時には家族同然の犬や猫を手放さなくてはならず、保護団体や最悪は保健所に送らなければならぬ現状があります。これまでも一緒に暮らしてきた家族である動物との別れは、人間にとっても動物にとっても大変辛い選択となります。この現状をなんとかしたいとの思いで、「福寿の里」では、体が不自由になり介護が必要になっても、大切な家族である伴侶動物と共に入居し、安心して生涯一緒に生活できる、埼玉県内で唯一の特別養護老人ホームとして環境を整えました。

動物と共に暮らす専用ユニットの充実した管理体制

福寿の里は1ユニットが10名で合計10ユニットあります。10ユニットのうち犬や猫と生活できる「動物共生ユニット」を犬猫それぞれ1ユニットずつ設けています。犬や猫の伴侶動物と

同伴入居をされる方と、もう一度犬や猫と暮らしたい方だけの生活空間で、その犬や猫にとっては、ユニットが家であり、ユニットの入居者様と職員が家族となります。ユニット内は動物とも快適に暮らすための細やかな配慮が施されており、愛犬や愛猫がストレスなく自由に過ごせる環境です。また、動物たちの健康管理や世話も職員がしますので、大きな安心感と幸せを感じながら過ごしていただけます（動物共生ユニット以外の8ユニットには、犬や猫が立ち入ることはありません）。

社会福祉的支援活動としての動物福祉の重要性

その方の幸せであったと思える生涯をお支える中で、「社会福祉」と「動物福祉」は切り離すことはできません。動物が家族の一員であることが当たり前となった今、多くの人々が動物と深い絆を築きながら生活をしています。そのた

め、人生のどの段階においても、その絆を大切にしたい。福祉サービスが必要で、社会福祉の一環として動物福祉も同時に支援していくことは、人の生活の質を向上させるために欠かせないものです。動物と共に暮らせる福祉施設はまだ限られているのが現状ですが、当施設のような取り組みが広がることで、人も動物も生涯幸せに暮らせる社会が実現することを願います。

施設長 小田美津子



社会福祉法人尚栄会 特別養護老人ホーム 福寿の里
狭山市北入曾1502-1 TEL: 04-2957-1163

多様性豊かな職場づくりをめざして 外国人介護士が活躍しています



当法人では数年前から外国人介護士の受け入れを行ってきました。現在、特定技能（介護）の外国人職員8名、そのほか留学生・介護ビザ・永住者等を含めると総勢16名の外国籍の方が活躍しています。

介護業務に必要な技術や知識を短期間で習得し、患者様、入居者様に対して質の高いケアを提供し、それぞれが介護現場で重要な役割を果たしています。

国籍は、ミャンマー・モンゴル・インドネシア・中国・ネパール・フィリピンと様々ですが、それぞれが国民性を活かし、細やかな気配りで患者様との信頼関係を築くのが得意な方や、柔軟な対応力を活かしてチームワークを大切にする方、明るく積極的な姿勢で他のスタッフとのコミュニケーションを円滑にし、施設内の雰囲気をよくしてくれる方など、皆当法人の現場スタッフとして必要な存在となっています。

法人としては外国人介護士を今後さらに増やしてい

たつすけ 龍助 ~狭山の空を舞う~



軽度認知症リハビリテーション「いきいきクラブ」では、昨年11月に開催された奥富かかし祭りに作品を出展しました。材料はゴミとなって捨てられる手前の新聞や端切れを使用しています。ご利用者様と約半年ほどの時間をかけて作成しました。

当日は天候にも恵まれ、青空に龍助がとても映えいきいきしていたと思います。

奥富の田んぼに一週間ほど飾られたのち、「ロツテほほえみ賞」をいただきました。来年度もグレードアップさせて出展予定です。

く計画であり、言語や文化の違いを乗り越えるための研修や業務に必要なスキルの向上だけでなく、日本で生活していくための様々なサポートを行い、安心して

働ける環境を整えていきたいと思えます。

今後も、外国人介護士の受け入れを進め、より多様な職場作りを目指してまいります。

新たな挑戦で、体と心と脳を活性化させよう カーレット体験会



愛通所リハビリでは、新たな挑戦で、体と心と脳を活性化させよう！という思いからユニバーサルスポーツ、『カーレット』体験会を行いました。

ユニバーサルスポーツとは、高齢者から子ども、障がいのあるなしに関わらず誰でも参加できるスポーツです。その中の『カーレット』は、座って楽しめる卓上カーリングです。ご利用者様も職員も初めて耳にしたスポーツに、興味津々…。今回は、【狭山カーレットクラブまぜこぜ】様の協力の下、多くの利用者様が参加されました。

手の平より小さなストーンを的めがけ滑らせ、チーム毎に点数を競います。さらに「がんばれー！」「惜しい！」などのエールには、手話を用いて大いに盛り上がります。

カーレットは狭山市内の多くの自治会や公民館で、地域活動として開催されて

います。実際に公民館で参加されている愛の利用者様からも、地域のカーレット実施状況を伝えてもらうことができました。

当日は、利用者様と車椅子のスタッフ、小学生のボランティア、そして愛通所のスタッフ一人ひとりが体をおもいきり動かし、大きな声で声援を送り、有意義で達成感のあるひと時を味わうことができました。また、利用者様同士で、順番を教えあったり、体を気遣う声掛けをしたりと、コミュニケーションも図れたことは

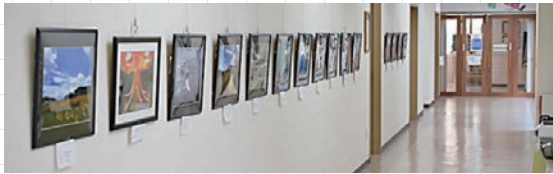


素晴らしい感じました。新しいことへの挑戦は、いくつになっても心が躍ります。「やってみたい。」「こうなりたい。」「愛通所リハビリでは、その一歩を踏み出すお手伝いをいたします！」

フォトクラブ 気写楽さんご紹介

今回、表紙写真を提供してくださった愛通所リハビリに通われていた庄司絹子様が通う、フォトクラブ「気写楽」さんのご紹介です。2018年3月に発足。クラブ名の由来は「気楽に楽しく写す」をモットーに「気写楽（きしゃらく）」と命名。平均年齢は75歳、男性5名、女性6名のメンバーで写す楽しさを学びながら親交を深め、和気あいあいと現在に至っています。

これからも自己研鑽と親睦を図り、元気に活動していきたいと思っております。現在「気写楽」さんには老健愛にて不定期ではありますが、展示会を開いていただいております。通所の利用者様や面会に来られたご家族様だけでなく、職員も素敵な写真に足を止め、ときには市内の写真に「こんなところがあったんだ」と再発見させられることも。今後も展示会の開催や素敵な写真を広報でもご紹介できたらと思います。



中庭 ひだまり広場 リニューアル

2024年3月に中庭「ひだまり広場」のリニューアル工事が行われ、舗装された綺麗なミニ広場が完成し、足の不自由な方や車いすでも訪れやすくなりました。面会時やちょっとした息抜きなど、是非この機会にひだまり広場に来てみませんか？ 四季折々の花々が、あなたをお待ちしています。



こんにちは！尚寿会美容医療です！

おかげさまで、尚寿会美容医療は今年の4月で、1周年を迎えることとなります。これもひとえに皆様の温かいご支援とご愛顧の賜物と、心より感謝申し上げます。

オープン以来、「笑顔あふれる健康素肌を目指し、身近で安心な美容医療」をテーマに、安心の技術と心のもったサービスをご提供することを目指してまいりました。これからも、皆さまの「なりたい自分」に近づくお手伝いをさせていただけるよう、技術や知識の向上に努めるとともに、心地よい空間作りにも取り組んでまいります。スタッフ一同、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



広報誌「しんあい」をご覧の方は初回施術30%OFFにてご提供いたします。（別途診察料）

ご予約時または窓口にて「しんあいを見た」とお伝えください。Instagramで施術風景やキャンペーンなどの情報を発信中です！フォロー宜しくお願いします♪

狭山尚寿会病院 A棟1階 お問い合わせ：04-2957-1150
<https://taisei-hosp-beauty.jp/>





庭の草花が素敵な作品になる 押し花体験教室

アトリエ Anela (アネラ)さん

今回のご紹介は狭山市北入曾のアトリエアネラさん。ご自宅で押し花教室を開いていて、体験もできるということでご伺ってきました。

たくさん植物がお家のまわりを囲み、私たちを出迎えてくれました。教室には陽の光がささんさんと降り注ぎ、自然のありがたみを身体中で感じることもできる空間です。そんな環境で押し花を教えてくださいださるのは講師の宮野かこさん。壁には宮野さんの素敵な作品がたくさん飾られていて、こんな発想があるなんて…と独創的なセンスにうっとりしました。

さて押し花の体験です。大きな作業用テーブルには押し乾燥させた色とりどりの草花（全部お庭の植物です）・ピンセット・はがきサイズの専用マット等が用意され、まずは自由な発想で草花をマットに並べていきます。これが簡単そうでなかなか難しく…自分のセンスのなさに四苦八苦しながらも無我夢中になりました。配色や配置でずいぶん印象が変わるものですね。宮野さんにアドバイスをいただきながら、ようやくと並べ終えました。体験では以降の額入れ作業は宮野さんが行ってくださいます。額入れは専用器具を用いてマットとガラス面の間の空気を抜いて…。こうすることで花色が10年ほど保たれるそうです。元々はフラワーアレンジメントをやっていた宮野さん。押し花の魅力は花色を長く楽しめるから、とのこと、納得です。私たちの隣では生徒さん3名がクリスマスリースを作成されていました。生徒さんはご自身で押しした草花を使われるそうで、庭の草花をはじめ、道端の植物や落葉を活用される方も。工夫が施された作品はどれも味わい深く素敵でした。私たちの作品もおかげさまで額に入れてもらってなかなかの出来栄えに…大満足です！

押し花教室は、好きなものを作成する方、またインストラクターを目指す方にも対応。月1、2回自分のペースで通うことができるそうです。現在は生徒さん十数名がアットホームな雰囲気の中で学習されています。「アネラ」の名前はハワイ語で天使・女神の意味があり、押し花教室を始める前は天使や妖精が好きで作品を作っていたことに由来します、と宮野さん。時期が来るとアネラさんのお庭にはバラなどが咲き誇り、妖精がそっと顔を出しそうなほど美しいです。新規生徒さんも募集中とのこと

アトリエ Anela (アネラ)

住所 埼玉県狭山市北入曾 22-3

● 体験教室 ●

① 第2水曜日・土曜日

am10:30 ~ 12:30

② 第4木曜日

am10:30 ~ 12:30

pm 2:00 ~ 4:00

参加費

4,500円 (材料費込み)



素敵な作品が完成！

ですので、ご興味のある方はぜひ訪れてみてくださいね！

編集後記



今回の表紙写真は、初めて読者様より提供していただいた狭山市内の写真となります。様々な狭山市内の風景写真の中から、今回は縁起を担いだ富士山を選定してみました♪ 狭山市内からこんな素敵な光景が見られることに驚きです！

昨年より、尚寿会・尚栄会で制限をかけていた「いきいき連」「フリーマーケット」などのイベントやボランティアや施設内の行事を再開しはじめました。改めてイベントの持つ「力」、人が集い成し遂げることで得られる満足感や団結力、そして患者様や利用者様、職員の笑顔に繋がる活動の大切さを感じた年でした。これから益々、患者様をはじめ、職員、地域の方々と一緒に様々なイベント等が出来たらと思いますし、この広報誌を通じて発信できたらと思います。これからもどうぞ愛読をお願いいたします。

(編集長 なみ)